人工呼吸器・酸素療法

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | （　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施内容 | 人工呼吸器・酸素療法 | |
| 実施手順 | | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。  人工呼吸器　加湿器　酸素濃縮器または酸素ボンベ　移動時人工鼻 | |
| 実　施 | 1. 人工呼吸器を速やかに装着する。 2. 移動時は、人工呼吸器に酸素ボンベ流量を   （　）L／分を確認して接続する。   1. 保育室（教室）へ入室し、酸素ボンベから   酸素濃縮器へ切り替える。  ・酸素濃縮器の電源はダイヤルを回すとビーと  　アラームが鳴る。  ・酸素流量を（　）L／分であることを確認する。  「設定流量は、（　）Lです。」と知らせる。  ・お知らせランプが緑色に点灯していることを  　確認する。  ・酸素流量チューブを人工呼吸器に接続する。   1. 仰臥位時は、人工呼吸器回路の青い人工鼻   を外し、加湿器をセットし、電源を入れて  本人へ装着する。   1. 体位変換時は、カテーテルマウントに赤い   キャップを装着し、体位が整ったら赤いキャップを外し、装着する。  ＜酸素ボンベへ切り替える時（移動時）＞   1. 人工呼吸器回路から加湿器とウォータートラップの回路を取り外し、青い人工鼻を装着する。 2. 人工呼吸器から酸素濃縮器のチューブを外し、バギーの後ろにセットする。同時に酸素   ボンベを開栓し、流量を確認のうえ、人工  呼吸器に接続する。   1. 本人の酸素飽和度（SpO₂）を確認し、言葉を   かけ、バギー等へ移動する。   1. 速やかに本人へ人工呼吸器を装着する。 2. 移動保育室（教室）先では、酸素濃縮器または、酸素ボンベへ切り替えて酸素療法を行う。 | ・酸素流量は、基本（　）ℓ／  　分とする。  ・火気厳禁  ・移動時は、酸素飽和度（SpO  ₂）が低下し、変動するため、  体位を整え、本人の表情を  確認する。  ・人工呼吸器を装着し、酸素  　流量が（　）ℓ／分で供給さ  れたうえで、5分経過しても  酸素飽和度（SpO₂）90％以下  が5分間以上続くときは、  酸素流量を（　）ℓ／分へ  上げる。  ・酸素流量を変更する際は、  看護師は他の看護師の応援  を要請し、ケアにあたる。  ・酸素濃縮器に不具合（アラ  ームが鳴る）時は、酸素ボン  ベに切り替え、酸素療法を  行う。管理者へ報告のうえ、  保護者に連絡し、保護者に  確認後、業者へ連絡する。 |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 酸素療法を実施しても、酸素飽和度（SpO₂）90％以下が5分以上続く場合 | 保護者連絡継続 | 救急車搬送 |
| 酸素濃縮器からのチューブの接続が万が一外れた場合 | 気づいた者が接続する。その後速やかに看護師に報告する。 | 看護師が、接続部、流量などの確認をする。 |
| 酸素濃縮器の不具合（アラームが鳴る） | 保護者へ連絡 | 酸素ボンベに切り替える。保護者に確認後、業者へ連絡する。 |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者 | （母）  （父） | －　　　　－  　　　－　　　　－ |
| 主治医 | 病院（小児科） | －　　　　－ |
| 救急搬送 | 酸素療法を実施しても、酸素飽和度（SpO₂）90％以下が5分間以上続く場合、救急車搬送する。 | |
| その他 |  | |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）